

目次

A. はじめに ……1L	D. 独自機能・便利な機能など …3L
セット内容	(下記は紹介機能の一部です)
本説明書について	画面自動消灯
関連文書	HDMI 出力解像度
本機の特徴	バッテリー保護モード
各部の名称と機能	タッチパネル感度設定
B. 基本操作 ……2L	タイマー設定
AC 電源の接続 / 充電	AC 連動電源設定
電源 ON/OFF	キオスクモード
画面 ON/OFF	映像のキャスト設定
画面の遷移	Bluetooth 各種設定
スクリーンショット	開発者向けオプション
C. 応用操作 ……2R	E. その他 ……4L
アプリの入手など	製品のお手入れ
ファイルのコピー	公的規制等
初期化	その他

A はじめに

セット内容

— ご使用開始前にご確認ください —

- 本体
- ACアダプター (ICP30A-050-3000, DC5.0V 3A)
- ダウンロードガイド

本説明書について

— 予めご了承ください —

注意

- 本機は業務用機器のため、本書はシステムインテグレーター (Sler) またはPCやスマートフォンの基本操作に慣れている方を前提として、手順や設定方法の概要がわかる程度の記載となっています。システムに不慣れな方が実施すると製品の動作に重大な影響を与える設定もありますので、十分にご注意ください。

関連文書

— ダウンロードのお願い —

本書および関連文書の記載内容に反した使用による不具合は、保証期間内であっても有料修理となる場合があります。使用前によくお読みいただき、必要なときすぐにご覧になれるよう以下のURL内のリンクから各関連文書をダウンロードのうえお手元に保管してください。

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

- 安全上・使用上のご注意
- 本書 (取扱説明書)
- 製品仕様書 (寸法図 各種ドライバ)
- 修理・保証規約
- サポートガイド
- 他



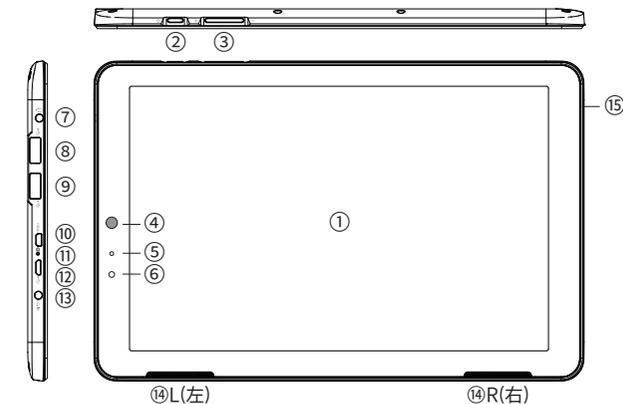
本機の保証期間、補修用性能部品の保有期間 (製品の修理対応期間)、本機に含まれる有寿命部品や消耗品の品目など、修理にとって重要な情報は「製品仕様書」の記載をご確認ください。

- 有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。
- 修理期間完了間近および完了済の製品は、上記製品サポートTOPページからリンクしている「製品別情報」にてご確認ください。

本機の特長

- ◆ **Android 13 (64bit) OS 搭載**
メインバージョン固定のため、長期運用に適しています。
- ◆ **USB Type-A端子を2系統搭載**
物理的に大きなサイズの Type-A端子は周辺機器との安定した接続が可能です。
- ◆ **映像出力対応 (micro HDMI出力端子、MiraCast対応)**
本機の処理状況を外部の大型モニターで画面共有することが可能です。
- ◆ **大音量再生が可能な内蔵スピーカー (1Wx2 ステレオ)**
店内広告や飲食店の案内チャイムなど、しっかりした音量でお知らせができます。
- ◆ **スピーカーはボックス内設置で前面防水 (IPx2相当)**
製品内部に水滴が浸入しにくいため、飲食店に最適でお掃除もしやすくなっています。
- ◆ **バッテリー保護モード搭載 (AC常時給電モード)**
AC電源を接続したまま運用したい環境に適した設定で、過充電・過放電を防ぎます。
- ◆ **ログ取得モード搭載**
長期での複数台運用では避けて通れない不具合もログ取得で早期解決を図ります。
- ◆ **常時給電運用に適したタイマースケジュール機能搭載**
1日1回のレポートやLCDの夜間消灯など、実施時刻を曜日単位で設定できます。
- ◆ **AC給電に連動して製品をON/OFFできる、連動機能搭載**
プレーカーで電源を管理する店舗やオフィスなどに便利な機能です。
- ◆ **長寿命な800サイクルバッテリー**
フル充電800サイクル経過時でも、初期性能の80%以上の駆動時間を維持します。
- ◆ **組込み系や車載にも便利なバッテリーレスモデルをラインナップ**
バッテリー非搭載モデルが望まれるシーンでもご利用いただける兄弟機があります。
- ◆ **飲食店や宿泊業で好評な、Magconn充電システムを利用可能**
マグネット付き充電端子と自立型クレードルを兼ね備えた充電オプションが使えます。
- ◆ **各種キitting作業やイメージ作成を国内でサポート**
お客様のご要望にきめ細かく迅速に対応できる、国内サポート体制です。

各部の名称と機能



- ① ディスプレイ (画面)
10点マルチタッチ対応
- ② 電源ボタン
- ③ 音量ボタン (+/-)
- ④ Webカメラ (内側のみ)
- ⑤ 照度センサー
- ⑥ LEDランプ (≠次項参照)
- ⑦ ヘッドセット/ヘッドフォン端子
4極 CTIA規格 (単体マイク不可)
- ⑧ USB端子1 (2.0 Type-A)
- ⑨ USB端子2 (2.0 Type-A)
- ⑩ microHDMI 出力端子
- ⑪ 内蔵マイク (モノラル)
- ⑫ USB端子3 (2.0 Micro-B)
- ⑬ 電源入力端子 (DC IN)
- ⑭ 内蔵スピーカー (ステレオL/R)
- ⑮ セキュリティ・ロック・スロット
ケンジントン・セキュリティ・スロット規格

注意 ⑧⑨⑫のUSB端子について

- 本機のUSB Type-A端子⑧⑨は給電用ではありません。USBハブを介して外部機器を接続する場合も含め、バッテリーやDC電源などの給電装置は接続しないでください。故障の原因になります。
- Micro-B端子⑫は給電が可能ですが、当社製タブレット (TA2C-M8およびM8AC) 付属のACアダプター、もしくはMagconn充電システムオプション以外は使用しないでください。また、Micro-B端子からの給電では、本機付属のACアダプターで充電する場合に比べ充電時間が長くなりますのでご了承ください。
- 本機に接続している外部USB機器の総和が過大な場合、ACアダプターを接続していてもバッテリー残量が減少したり、動作速度が遅くなることがあります。このような場合は、セルフパワー型USBハブを介して外部USB機器を接続してください。

上記 ⑥ LEDランプの状態表示について

点灯/点滅/消灯によって以下の動作状態を表します。

- 赤点灯 : 充電中 (本機の電源はON/OFF無関係)
- 緑点灯 : 非充電中かつ電源ON
- 黒(消灯) : 非充電中かつ電源OFF
- 緑点滅 : バッテリー保護モードON
かつAC非接続時かつ電源ON

※ 非充電中とは : 満充電またはAC非接続時のいずれかの状態
電源ONとは : 画面OFFの状態を含む (≠「画面のON/OFF」参照)

B 基本操作

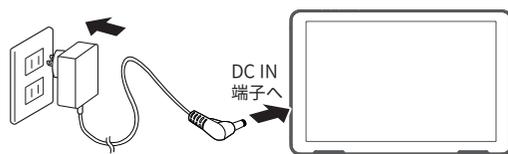
AC電源の接続 / 充電

① ACアダプターにACプラグを装着する



② 壁コンセントなど適切な電源に接続する

(☞「E:その他」>「設置、使用環境」参照)



✓ はじめてお使いになるときや充電残量が少ないときは、30分以上充電をおこなってください。

✓ 充電残量が0%のまま長期間使用されなかった場合は、充電時間が通常時よりも大幅に長くなる場合があります。

✓ オプションの Magconn 充電システムもご使用いただけます。

店舗などに最適な自立型の充電クレードルとジャケットのシステムです。USB Micro-B 端子での充電のため、付属の AC アダプターを直接つなぐ場合より充電時間は長くなります。



正面イメージ



背面イメージ

電源のON / OFF

電源 ON ① 電源ボタンを1秒以上長押しして指を離す

電源 OFF ① 電源ボタンを1秒押し、表示された電源メニューにて「電源を切る」をタップする



② 表示されたダイアログボックスにて「OK」をタップする

電源 OFF 時はクイック設定パネル(☞「画面の遷移」参照)からも電源メニューにアクセスできます。



✓ 本機は24時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。最低限1日1回は電源 OFF または再起動をおこなってください。不用データ (garbage) の蓄積を防止し、パフォーマンスの低下を防ぎます。

強制電源 OFF

① 電源ボタンを10秒以上押し続ける

通常稼働時には常用せず、本機がフリーズした場合などやむを得ないとき以外は実施しないでください。

画面のON / OFF

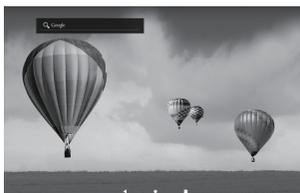
画面 ON/OFF

電源ボタンをカチッと短押しする
ボタンを押すたびに画面の ON/OFF を繰り返します。

※最後の操作から一定時間経過後にディスプレイを消灯する機能は「画面自動消灯」です。(☞「D: 独自機能・便利な機能など」参照)

画面の遷移

【ホーム画面】



システムバー ◀ ● ■

◀ バックボタン
ひとつ前の画面 (ページ) に戻る

● ホームボタン
「ホーム画面」に戻る

■ 履歴ボタン
アプリや設定などの利用履歴を表示する

【アプリ画面】



「ホーム画面」で下から上にスワイプ



● で「ホーム画面」に戻ります

【クイック設定パネル】



「ホーム画面」で上から下にスワイプ



● で「ホーム画面」に戻ります

・通知内容は、右か左にフリックすると消去できます。

スクリーンショット

手順

- ① 電源ボタン と 音量マイナス (－) ボタンを同時押しする
- ② 色味を選択して、保存をタップする

保存先

Pictures > Screenshots

C 応用操作

アプリの入手など

注意 ⚠ アプリの入手について

本機はお客様ご自身にて用意された業務用アプリをインストールすることを前提としており、Google Play ストア には対応しておりません。既存のアプリをご利用になる場合は、「Android APK サイト」などで検索していただいたサイトから、お客様の責任においてインストールを実施してください。なおアプリの不具合によって生じた損害などに対し当社は一切の責任を負いません。

アプリのインストール手順

- ① アプリサイトから APK ファイルをダウンロードする
(またはダウンロード済の APK を USB メモリーに保存し、本機に接続する)
- ② 目的の APK ファイルをタップすると、注意喚起の画面が表示され「同意」または「次へ」でインストールを開始します。

アプリのアンインストール手順

- ① アプリ画面で目的のアプリアイコンを長押し、吹き出しメニュー表示後に上にドラッグすると、アンインストールができます。

ファイルのコピー (プリインストールアプリの場合)

スマートフォンではあまり使われない機能に、USBメモリーを使用したファイルのコピーがあります。一般的には「コピー」→「ペースト」ですが、本機にプリインストールしているファイル管理アプリでは「コピー」→「コピー」という流れになります。 ※アプリによって手順は異なります。

USBメモリーから本機へ(一例)

「ファイル」→ 画面左「(接続したUSB名称)」→ 「(目的のフォルダ)」→ 「(目的のファイル)」を長押し → (チェックマークが表示される) → 「:(ケバブメニュー)」→ 「コピー」→ 「≡(ハンバーガーメニュー)」→ 「(本機の機種名)」→ 「(フォルダの選択)」→ 画面左下「コピー」

本機からUSBメモリーへ(一例)

上記の手順とほぼ同様の流れになります。
本機のファイルをコピー → USBメモリーの目的のフォルダにコピー

初期化 (工場出荷状態へのリセット)

初期化は、本機の復旧を目的として本機内の各種設定や記憶媒体をすべて消去し、工場出荷時状態に戻します。システムの不具合の原因が特定できない場合など、やむを得ないとき以外には実施しないでください。

手順

- ① 電源以外のすべての外部機器を取り外す
- ② 「設定」→ 「システム」→ 「リセットオプション」
→ 「全データを消去 (出荷時リセット)」→ 「すべてのデータを消去」
※処理が完了するまで、数分かかる場合があります。

D 独自機能・便利な機能など

※各種設定後に設定値が反映されない場合は、製品を再起動してください。

本項では、業務用タブレットに便利な当社の独自機能や Android の標準機能の中でよく使われる機能、当社の独自機能と間違われやすい機能などに特化して抜粋記載をしています。すべて「**アプリ画面**」→「**設定**」の**次の手順からの記載となります**。

Android OS や OS 搭載機能などの詳細については、Android 公式ページなどからご確認ください。 https://www.android.com/intl/ja_jp/android-13/

	機能名称	設定箇所	機能説明	デフォルト設定
当社独自機能	画面自動消灯	「ディスプレイ」→「画面消灯」	最後の操作から一定時間が経過すると、自動で画面を消灯します。宿泊施設などに便利な設定です。15秒から30分の間で、段階的に設定できます。画面を再度タッチすると、表示が元に戻ります。	起動しない
	HDMI出力解像度	「ディスプレイ」→「HDMI設定」→「HDMI」および「HDMI解像度」	本機のHDMI出力端子の使用の有無と、その解像度を変更できます。接続するモニターの仕様に合わせ 720p@60Hz、1080p@30Hz、1080p@60Hz から選択できます。※ Miracast使用時には、HDMI出力端子はOFFになります。	HDMI : ON 1080p@60Hz
	バッテリー保護モード (AC常時給電モード)	「バッテリー」→「バッテリー保護モード」	AC電源を接続したまま運用したい環境に適した設定です。過充電・過放電を防ぎ、バッテリーに優しい領域で運用します。バッテリーが75%に達したら充電を停止し、使用などにより残量が50%未満まで減ると自動で充電を再開します。AC電源が非接続の状態、残量が30%を切ると、自動でシャットダウンさせることも可能です。	OFF
	タッチパネル感度調整	「ユーザー補助」→「タッチパネル感度調整」	乾燥した環境や手袋をはめた状態での操作が多くタッチパネルが反応しにくいなど感じた場合は、「高感度」の設定をお試しください。ただし指以外の周辺のケーブルなどにも反応することがあります。	標準
	タイマー設定	「システム」→「開発者向けオプション」→「タイマー設定」	電源の再起動や電源OFF、LCD ON/OFF の時刻を曜日単位でスケジュール化することができます。常時給電運用では1日1回のリポートを実施したり、休業前日には電源OFFする、夜間はLCDを消灯するなど、細やかな設定が可能です。※ OSの制約上、電源OFFの状態から自動で電源をONにすることはできず、手動での電源操作が必要になりますので、電源OFFタイマーの有効化にはご注意ください。	REBOOT POWER OFF LCD OFF LCD ON すべてOFF
	AC連動電源ON	「システム」→「開発者向けオプション」→「ACアダプター接続時自動電源ON機能」	AC電源に接続されている時は、常に本機の電源がONになる機能です。電源プレーカーなどで一斉に電源を入れるような運用をしている現場に便利です。※ AC電源が供給されている間は、本機の電源を手動でOFFにしても、再度自動的に電源がONになります。	OFF
	AC連動電源OFF	「システム」→「開発者向けオプション」→「ACアダプター切断時自動シャットダウン機能」	AC電源が切断された瞬間を検知し、自動で本機がシャットダウンする機能です。AC電源切断後、15秒から30分の間で、段階的に設定できます。電源プレーカーなどで一斉に電源を切るような運用をしている現場では最短の15秒に設定すると便利です。停電などでAC電源が不安定な状態を回避したい場合や、短時間はモバイル端末としてバッテリー運用したい場合は、長めの時間を設定します。※ AC電源が切断されている状態で本機の電源を手動でONにした場合、設定した所定時間が経過しても電源はONのままになります。	OFF
システムバー非表示化 (キオスクモード化)	「セキュリティ」→「システムバー非表示」→※その後の手順は非公開です。	本機の機能を制限し、特定の用途にのみ利用できるようにキオスク(KIOSK)モード化することができます。※当該設定をおこなうと、その他の用途での使用や各種設定ができなくなりますので、詳細な手順は非公開にしています。詳細をお知りになりたい場合は担当営業までお問い合わせください。	OFF	
便利な機能など	システムバー隠し (通常時非表示化)	「システム」→「ジェスチャー」→「カスタムナビゲーション」→「3ボタンナビゲーション」→右横「歯車マーク」→「システムバーを非表示にする」	通常使用時にシステムバー(◀ ● ■)の表示を一時的に隠せるようになります。ホーム画面にて左下の「V」を押すと非表示になり、画面下から上にスワイプすると再表示できます。画面を広く使いたい方に適した設定です。 ※当該設定ではキオスクモード化はできません。	OFF
	バッテリーセーバー (ダークモード)	「バッテリー」→「バッテリーセーバー」→「バッテリーセーバーを使用する」	バッテリーの消耗を抑えるために、一部の機能やアプリの動作に制限が掛かるとともに、ダークモード(夜間モード)がONになります。 ※本機独自のバッテリー保護モードとは別の機能です。	OFF
	映像のキャスト設定	「デバイスの接続」→「接続の設定」→「キャスト」→「:(ケバブメニュー)」	Miracast機能により本機の画面をテレビ等の外部ディスプレイにワイヤレスで表示できます。ご利用にはMiracastレシーバー(別売)が必要です。デバイスを検知させる前に、右上の「:」から「ワイヤレスディスプレイの有効化」をタップして有効にします。	OFF (有効化していない)
	Bluetooth AVRCPバージョン	「システム」→「開発者向けオプション」→「Bluetooth AVRCPバージョン」	AVRCPバージョンを1.3から1.6まで選択することができます。最新のBluetooth機器との接続で所望の動作を得られないときなどに設定をご確認ください。 ※他にも「オーディオコーデック」などの詳細設定項目がありますが、OS依存の機能であり、当社ではすべての項目について、動作やバージョン間の互換性を検証・保証しているわけではありません。	AVRCP 1.5

開発者向けオプションについて

「開発者向けオプション」はAndroidの隠しメニューであり、有効化は担当者様の責任において実施してください。

⚠ 有効化の手順は当社では非公開です。

有効化を実施しないと、当オプションメニューは表示されません。「開発者向けオプション」にて何らかの設定をした後、「開発者向けオプションの使用」のスライドバー設定をOFFにしても、メニューが非表示化されるだけで、以前に設定した設定値は保存されています。

オプション内のすべての設定を無効化する場合は、設定した各項目を一項目ずつすべて元に戻す必要があります。また、当機能を表示すると、他の設定項目の選択肢に違いが現れる場合があります。

E その他

本機のお手入れ・メンテナンス

タブレット PC は、使用方法や使用環境、メンテナンスの状況によって、製品寿命や動作性能に大きく違いが出てくる場合があります。本書ならびに「安全上・使用上のご注意」や「製品仕様書」の記載事項に従ったご使用と、適切なメンテナンスを実施してください。

設置、使用環境

◆ 使用および保管時の環境温度/湿度を守る

本機には高速で動作する CPU や電源回路（内蔵バッテリーを含む）を搭載しており、製品全体で放熱をしています。製品仕様書にある環境温度 / 湿度をお守りいただき、かつ通気の良い熱が籠らない環境でご使用ください。パフォーマンスの低下や製品の短寿命化を防止することにつながります。

◆ 電源は 交流 100V (50/60Hz) の壁コンセントを使用する

◆ 延長コードや拡張タップの電流容量には十分注意する

◆ ACアダプターや電源ケーブルは製品の付属品を使用する

「IT 機器対応」として販売されている発動発電機や非常用バッテリー、AC アダプターなどであっても、電源の波形品質や予期せぬ電流制限などにより、正しく充電できないだけでなく、本機の電源回路の故障やバッテリーの短寿命化の原因になります。本機付属品と壁コンセントにてご使用ください。また電源の延長コードや拡張タップ、壁コンセントやブレーカーの電流容量にも十分ご注意ください。店舗等で複数台のタブレットを同時に充電する際、発煙、発火、火災、故障が発生する恐れがあります。

毎日のメンテナンス

◆ 1日1回は電源OFFまたは再起動をする

本機は 24 時間連続稼働を前提とした設計ではありません。再起動時に不用データ (garbage) を削除するため、パフォーマンスの低下防止になります。

◆ バッテリー残量がゼロになる前に補充電をする

残量ゼロの過放電状態はバッテリーの短寿命化の原因になりますが、長期間充電し続けることもバッテリーへの負荷を高めますのでご注意ください。

定期的なメンテナンス

◆ 本機に保存したデータなどは定期的にバックアップを取る

お客様が保存したデータ類の不具合や消失は当社の保証対象外です。

◆ バッテリーでの稼働時間や充電に掛かる時間をチェックする

◆ バッテリーに膨張や異常発熱がないか確認する

◆ バッテリー残量がゼロ（過放電）の状態でも長期間放置しない

バッテリーによる本機の稼働時間が初期性能の 50% 以下にまで低下した時点が、バッテリーの交換時期（寿命）です。同稼働時間が 30% 以下にまで低下している場合、膨張や異常発熱が認められる場合、充電が進まなくなった場合は製品の使用を中止し、当社 PC カスタマーセンターへバッテリー交換を依頼してください。（バッテリーの交換は保証期間内・外にかかわらず有料です）

製品を使用せず長期保管する際は、保管前と保管後約 3 ヶ月ごとに 55 ～ 75% 程度まで補充電することをお勧めします。

製品のお掃除

◆ 軽い汚れにはよく絞ったマイクロファイバークロスなどを使用する

◆ 消毒には製品仕様書に耐薬性が記載されている薬剤を使用する

◆ 有機溶剤が含まれた化学ぞうきんなどは使用しない

お掃除前には誤動作防止のため本機の電源を OFF にすることをお勧めします。日々のクレンジングでは、柔らかい布に水や薄めの中性洗剤を軽く含ませ、固く絞ってからご使用ください。可燃性ガスを含むエアダスター、シンナーやベンジン、化学ぞうきんなどの有機溶剤が含まれているものは、さまざまな事故や不具合の原因となりますので使用をお控えください。

公的規制認証など

■ 認証取得証明の表示について

本機では、各国および地域や団体が定める規格の認証取得証明を、電子表示している場合があります。製品本体や本書に認証マークがない場合、下記の手順でご確認ください。

アプリ画面 → 「設定」 → 「認証」

■ How to Confirm the Certification Marks

This device may electronically display certification and approval marks in accordance with the safety regulations and standards set by various countries, regions, or organizations. If the product itself or this manual does not bear any certification and approval marks, you can confirm those information by following the below steps;

App Drawer → "Settings" → "Certification"

■ 無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて

2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー

本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の多くの無線機器にも同じ周波数帯が使われています。他機器との電波干渉を防止するため、「使用上のご注意」に記載された「電波・無線LAN・Bluetoothに関するご注意」も併せてご確認ください。

2.4 DS/OF 4

〈2.4GHz帯無線LAN〉 本機は、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。
※ 使用できるチャンネル (ch) は、1ch～13chです。

2.4 FH 4

〈Bluetoothワイヤレステクノロジー〉 本機は、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、与干渉距離が40mであることを示しています。

※ 送信出力はPower Class1で通信範囲は見通し距離約10mです。

5GHz帯無線LAN 本機は5GHz帯無線LANを内蔵しています。

IEEE802.11a/n/ac

W52 W53 W56

使用可能チャンネル(ch)一覧

W52: 36ch, 40ch, 44ch, 48ch
W53: 52ch, 56ch, 60ch, 64ch
W56: 100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch

※ W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

■ 電波法および電気通信事業法について

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本機の設定画面内に表示されております。次の手順でご確認いただけます。

アプリ画面 → 「設定」 → 「認証」

本機内部の改造をおこなった場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ 電磁妨害ノイズや静電気などへの耐性基準について

この装置はCISPR35(マルチメディア機器の電磁両立性 一イミュニティ要求事項一)適合品です。

■ 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。内蔵バッテリーの充電残量が不十分な場合、本規格の耐力（正常動作の継続時間）を満たしませんのでご注意ください。

■ 高調波電流規制について

JIS C 61000-3-2 適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 電波障害自主規制 (VCCI規格) について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書ならびに「使用上のご注意」に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

その他

■ 仕様・スペックについて

本機の仕様・スペックおよび寸法図などは別文書となっています。

以下のURL内のリンクから各関連文書をご確認ください。

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

■ バッテリーサイクル (充電サイクル) について

充電サイクル表記は合計で100%になる充電*を何回実施すると、満充電時の容量が初期性能の80%まで落ちるか、という数値です。スマートフォンでは300～500回(サイクル)が一般的と言われ、本機の800サイクルバッテリーでは約2倍の性能であると言えます。

*例:0%から100%の充電で1回、20%から80%の充電では0.6回とカウントします。

バッテリーをより長持ちさせるためのコツや寿命の判断方法は「使用上のご注意」の記載をご確認ください。

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。・本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。・本書で使用している画像等はイメージであり、製品とは異なる場合があります。・本書を含む各種マニュアルの内容について、ご不審な点や誤り等がありましたら、PCカスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。・本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびそのマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許諾されます。・他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめのうえご購入ください。・本製品に記録した著作物は、個人で楽しむなどの場合は、著作権上、権利者に無断で使用できません。・本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。・[商標について] Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です。日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnn IME を使用しています。iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2023 All Rights Reserved. ・その他の会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。・本書では®マーク、TMマークを省略しています。

©2024 ODS Corporation

オーディーエス株式会社 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5

お問い合わせ先 PCカスタマーセンター

電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134

製品サポートTOPページ <https://ods.co.jp/support/top.html>

2024年3月

DCW213-01C